

沖縄県私学教育振興会 私学経営研修会

J-FLECの役割と取り組みについて

～沖縄の皆さまに期待すること～

2025年5月31日(土)

金融経済教育推進機構 (J-FLEC)

理事 大友 佳子

J-FLEC

金融経済教育推進機構



CONTENTS

- ① J-FLECのご紹介
- ② 金融経済教育はなぜ必要か
- ③ 何を学ぶか 金融リテラシーマップについて
- ④ どのように学ぶか
- ⑤ 学校への支援事業
- ⑥ (ご参考)J-FLEC提供教材

1. J-FLECのご紹介

- J-FLEC(ジェイフレック)は金融経済教育を推進するため、法律に基づき『**2024年に設立された中立・公正な金融庁所管の認可法人**』です。
- 幅広い年齢層に向けて、一人ひとりのニーズに応えた金融経済教育の機会を官民一体で届けています。

J-FLECについて

- 正式名称:金融経済教育推進機構

(英)J-FLEC: **J**apan **F**inancial **L**iteracy and **E**ducation **C**orporation

- 根拠法:金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律
(2024年2月1日施行)
- 出資団体:政府、日本銀行、全国銀行協会、日本証券業協会



1

講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC講師を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を展開。

2

イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC相談員(J-FLEC認定アドバイザー)による個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。

4

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ クーポン対象事業者(J-FLEC認定アドバイザー)による有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ(1時間あたり最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布。

5

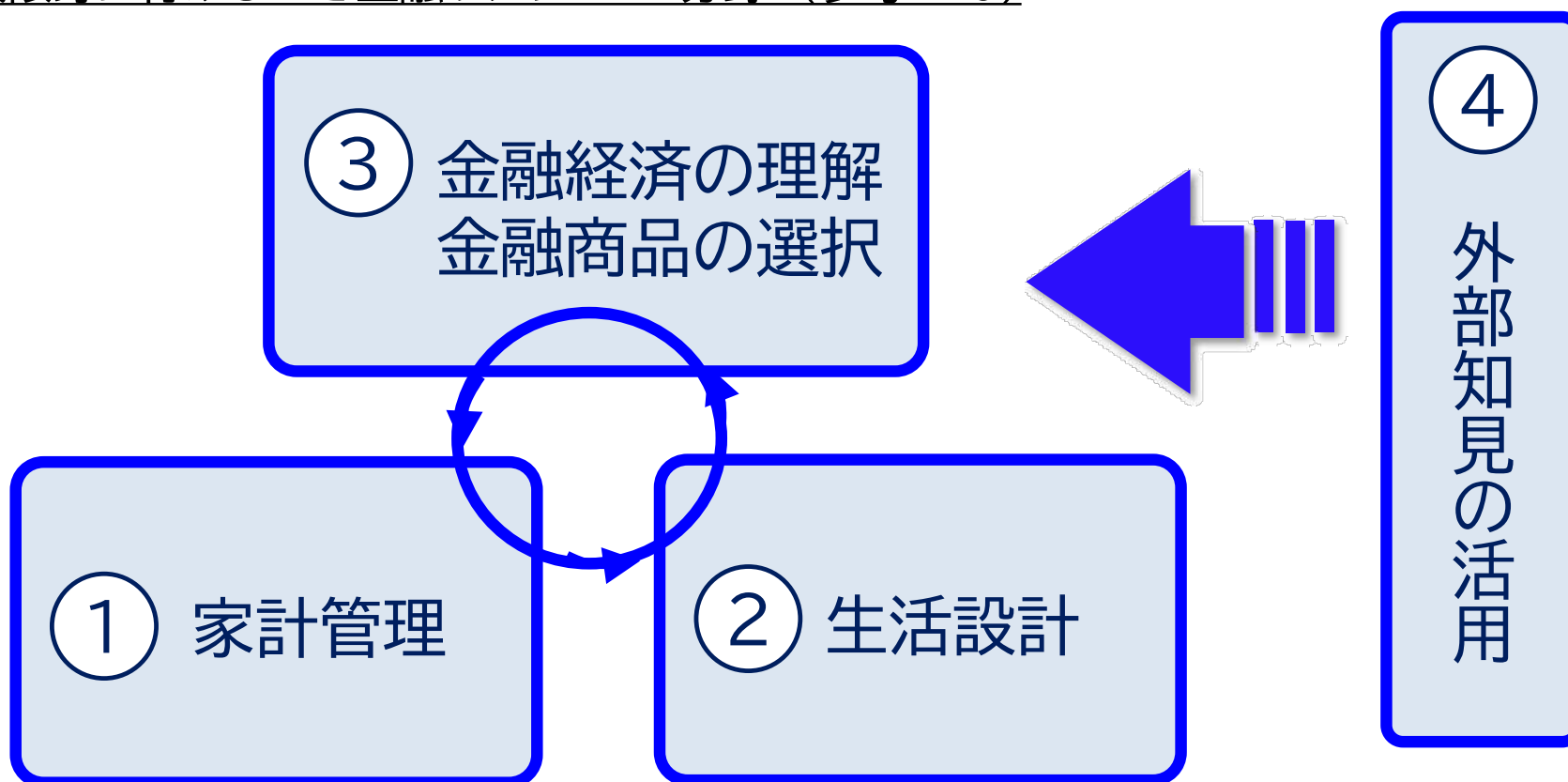
学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。

2. 金融経済教育はなぜ必要か

私たち一人一人が経済的に自立し、安心かつ豊かな生活を送るためには、お金に関する知識や判断力を身につける事が必要で、そうした知識や判断力は、金融経済教育によって育まれます。

最低限身に付けるべき金融リテラシー4分野（参考P10）



（出所）金融庁金融研究センター「金融経済教育研究会報告書」

- 金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な『**お金に関する知識や判断力**』のことです。
- 金融リテラシーを育むことは安心した生活に繋がります。

金融リテラシーが高い人の特徴

- 家計管理がしっかりしている。
- 計画を立ててお金を準備しているので、やりたいことを実現しやすい。
- 緊急時の備えがあるので、危機(自身の病気やケガ、不景気による収入減など)に強い。
- 詐欺や多重債務などの金融トラブルにあうことが少ない。
- **経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる。**



金融経済・社会環境の構造的な変化

➤ 少子高齢化

成年年齢引き下げ、資産寿命の延伸...

➤ デジタル化

キャッシュレス、フィンテック、金融トラブル...

➤ 多様化

職業選択、金融商品・サービス...

⇒ 今後の社会や自分自身の将来を見据え、金融に主体的に関わり意思決定していくための資質・能力(金融リテラシー)が一層求められている

3. 何を学ぶか

金融リテラシー・マップについて

- 金融庁では、2012年11月に有識者・関係省庁・関係団体をメンバーとする「金融経済教育研究会」を設置して、今後の金融経済教育の在り方について検討を行い、2013年4月に報告書を公表。同報告書において、「生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシー」が示された
- 「最低限身に付けるべき金融リテラシー」の内容は、「家計管理」、「生活設計」、「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択」および「外部の知見の適切な活用」の4分野に分かれており、「金融リテラシー・マップ」は、その内容を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したもの
- 国民一人ひとりが、生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシーを体系的かつ具体的にマッピングした「金融リテラシー・マップ」には、学習指導要領・同解説に示された教科等の内容に加え、各教科における発展的な学習や、総合的な学習の時間および特別活動において実践されてきたものも含んでいる

分 野	分 類	小学生 (注2)	中学生	高校生
		社会の中で生きていく力の素地を形成する時期	将来の自立に向けた基本的な力を養う時期	社会人として自立するための基礎的な能力を養う時期
家計管理	家計管理	必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)を区別し、計画を立てて買物ができる	家計の収入・支出について理解を深め、学校活動等を通じて収支管理を実践する	自分のために支払われている費用を知り、家計全体を意識しながらよりよい選択・意思決定ができる
生活設計	生活設計	働くことを通してお金を得ることおよび将来を考え金銭を計画的に使うことの大切さを理解し、貯蓄する態度を身に付ける	勤労に関する理解を深めるとともに、生活設計の必要性を理解し、自分の価値観に基づいて生活設計を立ててみる	職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる

分 野	分 類	小学生 (注2)	中学生	高校生
		社会の中で生きていく力の素地を形成する時期	将来の自立に向けた基本的な力を養う時期	社会人として自立するための基礎的な能力を養う時期
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	金融取引の基本としての素養	小学生が巻き込まれる金融トラブルの実態について知り、消費生活に関する情報を活用して比較・選択する力を身に付ける	契約の基本を理解し、悪質商法等を見分け、被害に遭わないようにする	契約および契約に伴う責任に関する理解を深めるとともに、自ら情報を収集し消費生活に活用できる技能を身に付ける
	金融分野共通	暮らしを通じてお金の様々な働きを理解する	お金や金融・経済の基本的な役割を理解する	お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、債券、投資信託、保険など基本的な金融商品の内容を理解する

分野	分類	小学生	中学生	高校生
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	保険商品	事故や疾病等が生活に大きな影響を与えることを理解し、自らも安全に行動する 不測の事態に備える方法として貯蓄以外に保険があることを理解する	リスクを予測して行動するとともに、人を傷させたり、人の物を壊した場合には弁償しなければならないことを理解する 事故や病気のリスクや負担を軽減させる手段のひとつに保険があることを理解する	リスクを予測・制御して行動するとともに、加害事故を起こした場合には責任や補償問題が生じることを理解する 社会保険と民間保険の補完関係を理解する
	ローン・クレジット	子ども同士でお金の貸し借りはしないようにする	ローン等の仕組みや留意点について理解する	貸与型の奨学金などローンの仕組みを理解し、返済方法や金利、延滞時の影響について考える 各種カードの機能や使用上の留意点を理解し、適切に行動する態度を身に付ける
	資産形成商品	金利計算(単利)などを通じて、主な預金商品とその利息の違いについて理解する	リスクとリターンの関係について理解する 金利計算(複利)を理解し、継続して貯蓄・運用に取り組む態度を身に付ける	基本的な金融商品の特長とリスク・リターンの関係について理解し、自己責任で金融商品を選択する必要があることを理解する リスク管理の方法や定期的に貯蓄・運用し続けることの大切さを理解する

分 野	分 類	小学生	中学生	高校生
外部の知見 の適切な活 用	外部の知見の適切 な活用	困ったときにはす ぐに身近な人に相 談する態度を身に 付ける	トラブルに遭ったとき の相談窓口に、必要に 応じて連絡する方法を 身に付ける	トラブルに対処できる 具体的方法を学び、実 際に行使できる技能を 身に付ける

	幼児期	小学生期	中学生期	高校生期
各期の特徴	様々な気づきの体験を通して、家族や身の回りの物事に興味をもち、それを取り入れる時期	主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期
重点領域				
消費者市民社会の構築	消費がもつ影響力の理解	おつかいや買い物に関心をもち、それを取り入れる時期	消費をめぐる物と金銭の流れを考えよう	消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えよう
	持続可能な消費の実践	身の回りのものを大切にしよう	自分の生活と身近な環境とのかわりに気づき、物の使い方などを工夫しよう	消費生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した生活を実践しよう
	消費者の参画・協働	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働して取り組むことの重要性を理解しよう
商品等の安全	商品安全の理解と危険を回避する能力	くらしの中の危険や、ものの安全な使い方に気づこう	危険を回避し、物を安全に使う手がかりを知ろう	安全で危険の少ないくらしと消費社会を目指すことの大切さを理解しよう
	トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	販売方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう
生活の管理と契約	選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やきまりを守ろう	物の選び方、買い方を考え適切に購入しよう 約束やきまりの大切さを知り、考えよう	商品を選択し、契約とそのルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう
	生活を設計・管理する能力	欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう お小遣いを考えて使おう	消費に関する生活管理の技能を活用しよう 買い物や貯金を計画的にしよう
情報とメディア	情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知ろう	消費生活に関する情報の収集と発信の技能を身に付けよう
	情報社会のルールや情報モラルの理解	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを知ろう	著作権や発信した情報への責任を知ろう
	消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ」「どうして」を考えよう	消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知ろう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう

➤ 消費者教育では、「収入と支出」、「契約」、「ローン・クレジット」、「消費者トラブル」等の知識の習得を求めている。

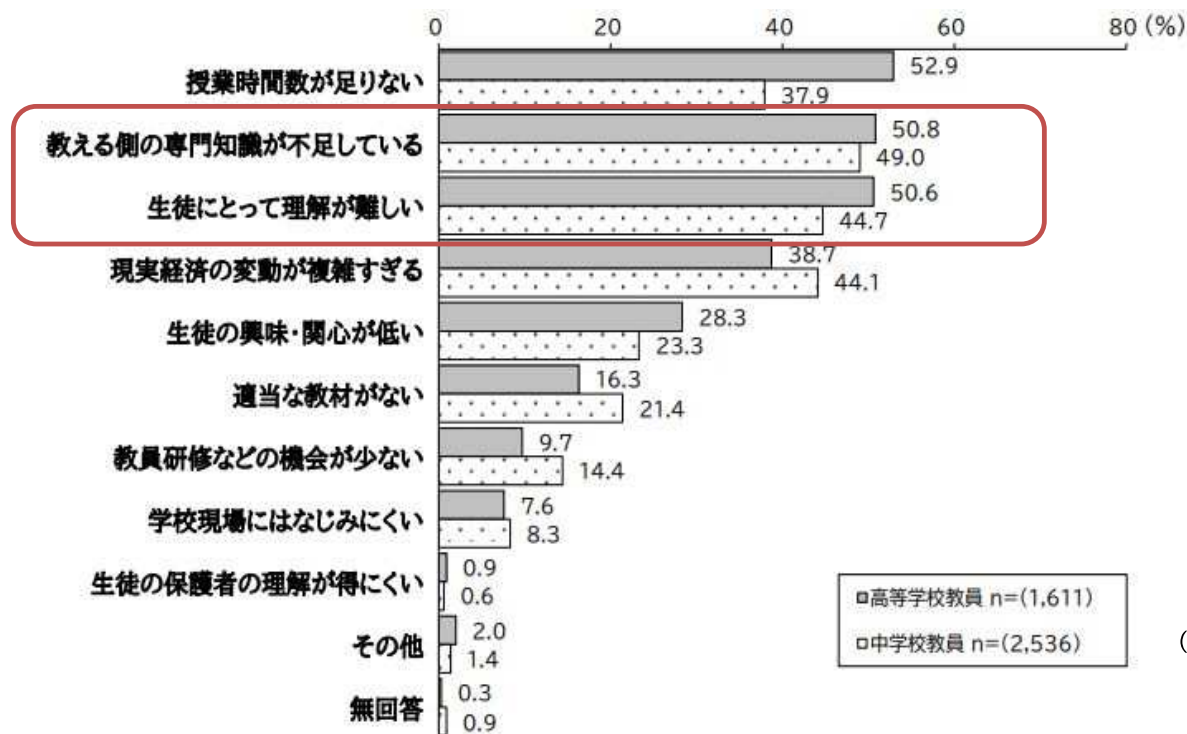
➤ 金融経済教育では、上記に加え、「金融分野共通」、「資産形成」、「保険」についても知識の習得を求めている。

▽ 消費者教育の推進に関する基本的な方針(平成25年閣議決定)

「・・・金融リテラシーは、自立した消費生活を営む上で、必要不可欠であり、消費者教育の重要な要素であることから、金融経済教育の内容を消費者教育の内容に盛り込むとともに、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要・・・」

4. どのように学ぶか

○金融経済教育を授業で取り扱う際に、難しいと感じていること



(出典)金融経済教育を推進する研究会
「中学校(教員・生徒)における金融経済教育の実態調査報告書」(2022年10月)、「高等学校(教員・生徒)における金融経済教育の実態調査報告書」(2023年9月)より

J-FLECが提供しているさまざまな支援ツールを活用いただくことが可能

- 講師派遣(J-FLECが認定した講師による、無料の出張授業)
- 「わかりやすく金融リテラシーが学べる」教材の無償提供
- 教員の方向けのセミナー開催

- 「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシーを習得いただけるよう、「**標準講義資料**」をもとに、**J-FLECが認定した講師が授業を実施。講義料や派遣に係る交通費は無料(J-FLECが負担)。**

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	「おこづかいから学ぶお金の話」 ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」 ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代~20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代~40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開しています。

J-FLEC ① みんなは何を買う？

○おこづかい1000円で何をかうか、計画を立ててみよう。

ポイント：勉強のために必要なえんぴつと消しゴムと、水分補給をするためのお水はかならず買しましょう。



J-FLEC ③ クイズ (計算してみよう)

クイズ

銀行にあずけると、毎年1%の利息がもらえます。1万円をあずけた時、来年はいくらになっているでしょう。

① 2万円 ② 1万1000円
③ 1万100円 ④ 1万10円

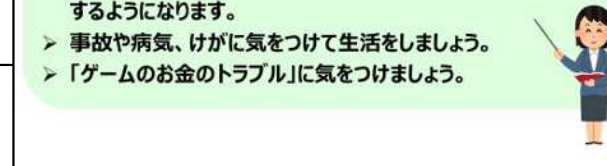


クイズなども交えながら、お金の使い方・トラブル事例などを学びます。

J-FLEC ⑤ 今日のまとめ

○今日勉強したことをまとめてみよう

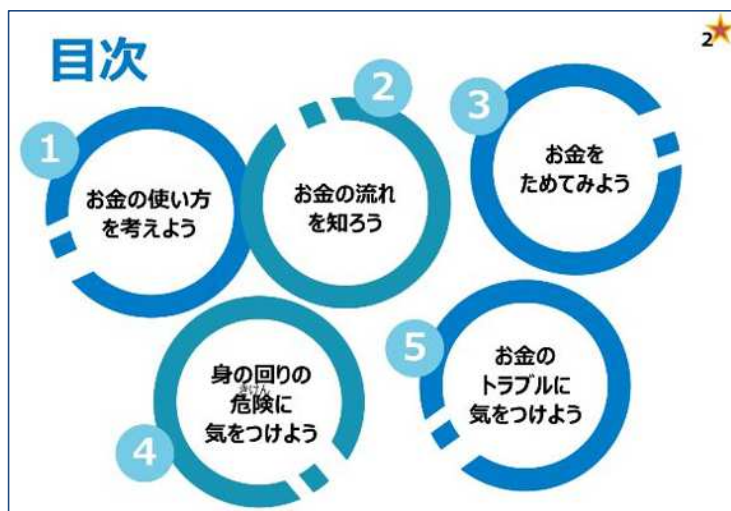
- お金は計画的に使いましょう。
- あなたが使ったお金は、いろいろなところをめぐるっています。
- お店の人はいろいろな工夫をしています。
- お金をためるとほしいものが買えたり、やりたいことができたりするようになります。
- 事故や病気、けがに気をつけて生活をしましょう。
- 「ゲームのお金のトラブル」に気をつけましょう。



標準講義資料(目次)

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
おこづかいから学ぶお金の話 1 お金ってなんだろう？ 2 おこづかいのつかいかた 3 お金をためてみよう	おこづかいから学ぶお金の話 1 お金の使い方を考えよう 2 お金の流れを知ろう 3 お金をためてみよう 4 身の回りの危険に気をつけよう 5 お金のトラブルに気をつけよう	

小学校高学年向けに、お金の使い方(いわゆるニーズとウォンツ)を解説。おこづかい帳の付け方からの振り返り方法、キャッシュレスに関する内容にも触れる。



J-FLEC ① ほしいものと、必要なもの

○お金を使うときは、買いたいものを、『**ほしいもの**』と『**必要なもの**』にわけて考えましょう。

○『**必要なもの**』を先に**買う**ようにしましょう。

ほしいもの

・おかしやおもちゃ、ゲーム など

必要なもの

・勉強するためのえんぴつや消しゴム
・水分補給をするためのお水 など

必要なものを買った後で、ほしいものの中でも特にほしいものを買うようにしましょう。

J-FLEC ① おこづかい帳から何が分かる？

○おこづかい帳をつけておくと、自分が何にお金を使ったかがすぐにわかるようになります。

○後から見てみると、『**もしかしたらいらなかったかも**』『**別のものに使えばよかった**』というふり返りができるようになります。

日付	ことから	入ったお金	出たお金	残りのお金
1日	おこづかい	1000円		1000円
3日	おかしを買う		200円	800円
4日	えんぴつと消しゴムを買う		300円	500円
6日	お手伝いをする	500円		1000円
10日	ジュースを買う		200円	800円
11日	おかしを買う		200円	600円
15日	ゲームセンターで遊ぶ		300円	300円
20日	おかしを買う		200円	100円
合計		1500円	1400円	100円

ちよっとおかしを買いすぎたかかもしれない…

J-FLEC ① お金は現金だけ？

○お金は現金以外にも、『**電子マネー**』、『**プリペイドカード**』、『**スマホの〇〇ペイ**』などいろいろな形があります。

現金

現金以外のお金

形がちがっても、お金の価値は同じです。

現金以外のお金は、支払うのが簡単にできますが、お金を使っている感覚がなく、**使いすぎてしまうことがあるので注意しましょう。**

働くことの必要性に加え、消費税などの事例を挙げて税金(租税)についても解説。
クイズ形式で手を挙げてもらうなど、参加型の授業が可能。

J-FLEC ② 大人はどうやってお金をもらっているの? 14★

○大人は、『人の役に立つこと』や『人がよこごこと』をしてお金をもらっています。

例えば...



お医者さんは病気の
人をなおしてお金を
もらっています



パン屋さんはおいしい
パンを作って
お金をもらっています



学校の先生はみんなに
勉強を教えて
お金をもらっています

大人はいろいろな仕事をしてお金をもらっています。

J-FLEC ② クイズ (ケーキを買ったお金はどこへ?) 17★

クイズ

あなたがケーキ屋さんでケーキを買いました。
さて、そのお金はどこへ行くでしょう?

?

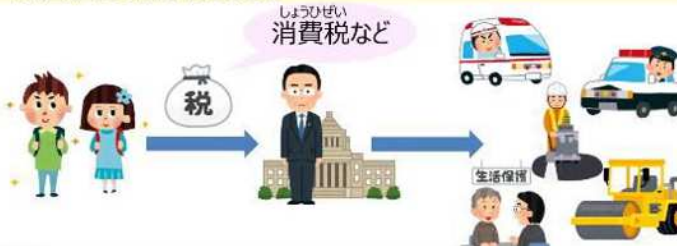
- ① ケーキ屋の店員さんにお給料をはらった
- ② ケーキの材料を買うために使った
- ③ 銀行にあずけた
- ④ 新しい機械を買うために使った





J-FLEC ② 税金について知ろう② 16

○警察官や救急隊員のお給料は、みんなから少しずつ集めた税金から支払われます。



税金は他にも、道路をなおしたり、生活にこまった人を助けたり、いろいろなことに使われています。

J-FLEC ② クイズの答え 18★

答え

①～④全部

みんなが買い物をして使ったお金は、店員さんのお給料や、その商品を作るための材料、機械を買うために使ったり、銀行にあずけたりするなど、いろいろなところへめぐっていくよ。






身の回りのリスク、保険の仕組みを理解するとともに、お金に関するトラブル事例（お金の貸し借りや詐欺、オンラインゲームでの課金）などを解説。

J-FLEC ④ 生活の中のリスクを理解しよう 33



事故でケガをするかもしれない
病気で入院するかもしれない
自然災害で家がこわれてしまうかもしれない

事故や病気、自然災害が起こると、生活に大きなえいきょうがあります。健康や安全に気をつけて生活しましょう。

J-FLEC ⑤ クイズ（お金の貸し借り） 38

クイズ

? 友達に500円貸してほしいとたのまれたよ。どうする？

- ① すぐに貸してあげる
- ② 事情を聞いてなっとくしたら貸してあげる
- ③ いつ返すかを聞いてから貸してあげる
- ④ 絶対に貸さない



J-FLEC ④ 遠足や修学旅行と保険 36

○みんなが遠足や修学旅行に行くときも、旅行中にケガや事故、病気になったときに備えて学校が保険に入っています。



J-FLEC ⑤ どうすればいい？（オンラインゲーム） 41

○まずは下の画像を見てみましょう。
○何がいけなかったのか考えてみましょう。



アイテムガチャ
CREDIT CARD
今月の利用金額は50万円です
ゲームで強いアイテムがほしい…
おうちの人のお金やカードを使ってアイテムをゲットしよう
いつの間に50万円も…
いったい何に使ったんだ！

J-FLEC ③ ニーズとウォンツ DRAFT 20

○お金の使い方を考える時は『優先順位』をつけましょう。

1. ニーズとウォンツを区別する。

ー必要なもの・こと (Needs : ニーズ)

ー欲しいもの・やりたいこと (Wants : ウォンツ)



<ニーズ>

2. お金を使うときには「ニーズ (必要なもの)」を

3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使い

J-FLEC ④ 資産形成と経済活動の関係性 DRAFT 32

○資産形成 (預貯金・投資) は、『経済活動を支える』ことで、消費 (商品の購入) と相まって『経済を循環』させています。



成人を迎えるにあたって知っておくべき
お金の知識を学びます。

J-FLEC ⑦ 金融トラブルに対する鉄則 DRAFT 93

○金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

①『おいしい話には気をつける』。

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。=「おいしい話」は存在しません。

②向こうから近寄ってきても、『怪しいと思ったらはっきり断る』。

「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いいません」と断りましょう。

③万が一『トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない』。

ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。

標準講義資料(目次)

中学生	高校生
大人になる前に知っておきたいお金の話	大人になる前に知っておきたいお金の話
1 【はじめに】金融リテラシーってなに？	1 【はじめに】金融リテラシーってなに？
2 【使う】生活設計(ライフプランニング)	2 【使う】生活設計(ライフプランニング)
3 【使う】家計管理と決済	3 【使う】家計管理とキャッシュレス
4 【貯める・増やす】資産形成の基本	4 【貯める・増やす】資産形成の基本(長期・積立・分散)
5 【備える】保険の仕組み	5 【備える】社会保険と民間保険
6 【借りる】ローン・クレジット	6 【借りる】ローン・クレジット、奨学金
7 【注意】金融トラブル	7 【注意】金融トラブル

成年年齢の引き下げから、生活設計の重要性、働き方の違いによる年収の差など基礎的な項目を幅広く解説。人生の様々な場面でかかるお金をイメージ。

- 2022年4月から『**成年年齢が18歳に引き下げ**』られました。

18歳からできるようになること

注意点

保護者の同意がなくても契約可能

- 携帯電話を契約する
- 一人暮らしの部屋を借りる
- クレジットカードをつくる
- ローンを組む

(2022年3月まで)
⇒18歳は未成年なので、
契約を取り消すことができた
(2022年4月以降)
⇒18歳は成年なので、
契約を取り消せない

特に悪質商法や詐欺のような契約には注意！
正しい金融リテラシーを身につけることが重要です！

- 「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを『生活設計（ライフプランニング）』といいます。

どんな仕事をしたい？

独身？結婚？

子どもは？

何歳まで働く？

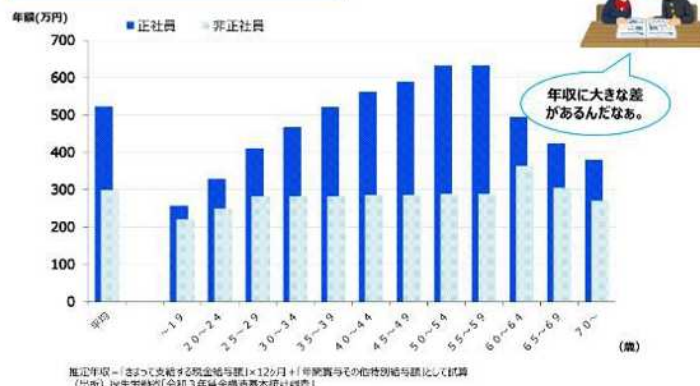
どこに住む？

どんな暮らしをしたい？

実現したいこと、ほしいものは？

10

雇用形態による年収の違い



151

- ライフイベントによって大きな支出を伴うことが多くなります。
- 将来のライフイベントにかかる『必要金額をイメージ』しましょう。
- また、『想定外の支出もあり得ることをイメージ』しましょう。

ライフイベントに必要な金額（費用）の例



※無償化・減税・補助などの各種制度は考慮していません。

各自のスマホでシミュレーターを実施いただくことも可能。また、手取り収入の考え方や収入と支出のバランス、ニーズとウォンツについても解説。

J-FLEC ② (参考) シミュレーションの紹介 13

○シミュレーションを使って実際にライフプランを立ててみましょう。

**金融庁提供
ライフプランシミュレーター**

性別・学歴・雇用種別・年収・結婚・子ども・マイホーム購入等のライフイベントを入力することで、簡易的なシミュレーションを作成することができます。

ライフプランシミュレーター以外にも、家計管理や資産形成、借金のシミュレーターもあります。

金融庁 ライフプランシミュレーター 検索



J-FLEC ③ 大学生・社会人の家計管理 19

大学生の場合

収入
仕送り
アルバイト代
奨学金

社会人の場合

収入
給与
賞与(ボーナス)

支出

食費	飲食などに必要なお金
住居費	家賃など
水道光熱費	電気・水道・ガスの料金
通信費	電話やインターネットの料金
交通費	移動するのに必要なお金
被服費	洋服代など
教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金
ローン返済	クレジットやローン・奨学金の返済
そのほか	冠婚葬祭費や医療費など

貯蓄
使わずに貯めておくお金

J-FLEC ③ 手取り収入を把握する 17

○給与明細から『手取り収入≒可処分所得』を把握し、その範囲内に支出を収めることが基本です。

給与明細の例 金額は概算 千円未満四捨五入 (単位: 円)

支給	基本給	時間外手当	通勤手当	支給額計
	200,000	10,000	10,000	220,000
控除	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	社会保険料計
	1,000	10,000	20,000	31,000
	所得税	住民税	介護保険	税額計
	4,000	7,000	介護保険は 40歳から納付開始	11,000

社会保険の仕組みについては詳細後述

非消費支出 可処分所得

総支給額 - (社会保険料 + 税金) = **手取り収入**
220,000 - (31,000 + 11,000) = **178,000円**

J-FLEC ③ ニーズとウォンツ 20

○お金の使い方を考える時は『優先順位』をつけましょう。

1. **ニーズとウォンツ**を区別する。

ー必要なもの・こと (Needs: ニーズ)

ー欲しいもの・やりたいこと (Wants: ウォンツ)

＜ニーズ＞ ＜ウォンツ＞

2. お金を使うときには「**ニーズ (必要なもの)**」を優先しましょう

3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使いましょう。



※一般的なイメージ図であり、すべての金型商品があてはまるものではありません。

投資をする際の視点「長期・積立・分散」を解説。また複利効果・72の法則も解説。話題のNISAも概要を説明。SNSではなく信頼できるサイト(金融庁)などを紹介。

J-FLEC ④ 投資の主なリスクを抑えるために 43

○投資のリスク(運用成果の振れ幅)を軽減(コントロール)するには、『長期・積立・分散投資』の視点が重要です。

投資のリスク(運用成果の振れ幅)

リスクを抑える方法

長期投資 積立投資 分散投資

J-FLEC ④ クイズ(何から始めたらいい?) 54

クイズ

? 2024年1月から制度が新しくなった投資制度を知っていますか? 初めて「長期・積立・分散投資」を行う場合に適した制度です。



J-FLEC ④ 長期投資 - 複利効果、72の法則 47

○『長い期間投資を続けると複利効果が大きく』なります。
○『72の法則』でお金が2倍になる金利・期間が分かります。

複利効果

毎月1万円ずつ積み立て、利率3%で運用した場合



40年間積み立て
元金480万円が
約930万円に

20年間積み立て
元金240万円が
約330万円に

72の法則

『 $72 \div \text{利率}(\%) \approx \text{お金が2倍になるために必要な期間}$ 』

利率3%で運用した場合
 $72 \div 3 \approx \text{約24年}$

利率5%で運用した場合
 $72 \div 5 \approx \text{約14.4年}$

※72の法則はあくまで目安です。税金は考慮していません。またとった金額を運用し続けた場合の計算です。

※投資や預金等で得た収益を、当初の元本にプラスして適用することで得られる利益を「複利」と呼びます。
<金融庁 はじめてみよう! NISAからガイドブック>

J-FLEC ④ (参考) 金融庁 NISA特設ウェブサイト 57

NISAについて基本から学ぶことができます。



つみたてワニーサがナビゲートしてくれます。

詳しくは 金融庁 NISA 検索

社会保障制度の仕組みとともに、生活を支える社会保険と民間保険を解説。
ローン・クレジットの仕組みや、リボ払いの注意喚起も具体事例を挙げて実施。

J-FLEC ⑤ 社会保険制度とは 61

○日本の福祉社会は、『①自助（個々人の努力）、②共助（社会保険）、③公助（社会福祉等）の適切な組み合わせ』によって形づくられています。

	考え方	主な財源	具体的な行動や制度
基本	自助	自ら働き、自分の健康や生活は自分で守る	自分のお金 ✓預貯金・投資 ✓民間保険への加入
社会保険制度の補完（自助と共助の中間）	共助	生活上の様々な困難に対して、社会連帯の考え方で支え合う	社会保険料 ✓社会保険 年金、医療、介護、雇用、労災
社会保険制度の補完（共助と公助の中間）	公助	特定の人々※の生活を公的に支援する	税金 ✓社会福祉 障害者福祉、児童福祉等 ✓公的扶助 生活保護

※ 障害者、ひとり親家庭など社会生活をする上で様々なハンディキャップを負っている人や生活に困窮する人

J-FLEC ⑥ ローンとクレジット 71

○ローンとクレジット共に仕組みの違いはあるものの、どちらも『後から返済（支払い）が必要な借入れ（借金）』です。

ローンの仕組み

利用者 ← 借りる → 金融機関 (BANK) → 後から少しずつ返済

住宅・自動車などの高額な買い物で後から少しずつ返済。

クレジットの仕組み

利用者 → 商品購入 → 加盟店 (SHOP) → 代金支払い → クレジット会社 → 代金立て替え

クレジットカードでの利用が大半。

J-FLEC ⑤ 社会保険と民間保険 64

○リスクに備える手段として、民間保険（任意）もあります。
○『（強制加入の）社会保険の保障内容をよく理解したうえで、（必要に応じた）民間保険を検討』することが重要です。

リスクのイメージ	社会保険	民間保険
病気・ケガ	公的医療保険	公的医療保険適用外の支出＋生活費等差額ベッド代や自己負担の軽減、収入減少等への備えとして民間医療保険等を検討
長寿 介護	公的年金（老齢年金） 公的介護保険	自身または家族が必要と考える金額を備えとして個人年金保険、民間介護保険等を検討（必要に応じて資産形成も検討）
親など家計を支えていた方の死亡	公的年金（遺族年金）	自身または家族が必要と考える金額、子どもの教育費や遺族の生活費等への備えとして死亡保険等を検討
交通事故 火事など	-	事故による損害を補償 備えとして自動車保険・自転車保険、火災保険等を検討（自賠責保険は強制加入）

J-FLEC ⑥ リボルビング払い（リボ払い）とは 76

○リボ払いとは、カードの利用金額や利用回数にかかわらず、『あらかじめ設定した一定の金額を月々返済する方式』です。

利用金額

支払い残高

月々の返済

1回目 5千円
2回目 5千円
3回目 5千円
4回目 5千円
5回目 5千円

月々の返済はあらかじめ設定した一定額。
（左の例では毎月5千円）

支払い残高（＋手数料）がなくなるまで返済が続く。
リボ払いの手数料は、多くが年利15%程度。

次のページで返済期間、総返済額を解説します

大学進学で利用者の多い奨学金の解説。また金融トラブルに関しても事例を挙げて解説するとともに、遭わないための考え方、遭ってしまった際の相談先を紹介。

J-FLEC ⑥ 奨学金とは 81

○奨学金とは、経済的な理由や家庭の事情で修学が困難な学生に『学費を給付または貸与する制度』です。

制度	特徴
給付型奨学金	- 原則、返済の必要はありません。 - 家計や学業成績の基準があります。
貸与型奨学金	- 返済の必要があります。 - 無利息と利息付があります。


 ※日本学生支援機構（JASSO）などが奨学金制度を運営しています。JASSOでは「返済」は「返還」と表記します。大学や企業などの奨学金もあります。

J-FLEC ⑦ 金融トラブルに対する鉄則 94

○金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

- ①『おいしい話には気をつける』。
「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。＝「おいしい話」は存在しません。
- ②向こうから近寄ってきても、『怪しいと思ったらはっきり断る』。
「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いりません」と断りましょう。
- ③万が一『トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない』。
ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。

J-FLEC ⑦ 闇バイトに注意① 92

○闇バイトは、『アルバイトではなく犯罪』です。
○『簡単にお金が稼げるというおいしい話はない』ことを理解し、巻き込まれそうになった時は、すぐに警察などに相談しましょう。


 SNS ネット掲示板
 日給5万円！簡単に稼げるバイト！
 お仕事紹介のため、免許証や家族構成を登録してください
 詐欺や強盗に 加担させられ逮捕

J-FLEC ⑦ トラブルにあった時の相談先 95

○金融トラブルに限らず、消費者トラブルで困った際は、『独りで悩まずに相談』しましょう。

契約や商品について困ったときは ⇒ 消費者ホットライン （全国共通）	188（いやや） 消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター イヤヤン
警察に相談したいときは ⇒ 警察相談専用電話 （全国共通）	#9110
金融サービスについて困ったときは ⇒ 金融庁 金融サービス利用者相談室	0570-016811

5. 学校への支援事業

❑ 全国各地で、金融経済教育に関する研究活動や実践に積極的に取り組む学校を指定し、教育研究費の助成や研究・実践計画作成に当たってのアドバイスの提供など、さまざまなかたちで支援しています。

❑ 研究校制度についてご関心のある学校がありましたら、沖縄県金融広報委員会にご連絡頂きますようお願い申し上げます。

○金融経済教育研究校とは

- ✓ 生徒、児童、幼児の発達段階に応じた金融経済教育の研究・実践を支援するために、J-FLEC及び都道府県金融広報委員会が指定
- ✓ 研究校の対象は、高等学校、高等専門学校、高等専修学校、中等教育学校、中学校、義務教育学校、小学校、幼稚園、保育所、認定こども園、特別支援学校
- ✓ 金融リテラシー・マップと明確に紐づく内容(幼稚園、保育所、認定こども園については、金融リテラシー・マップの小学校低学年の内容を踏まえつつ、その導入になりうるもの)であれば、研究内容は研究校で自由に設定可能

○研究校に対する支援

- ✓ 教育研究費の助成(教育研究費上限:幼稚園等15万円、小学校以上30万円、公開授業費は別途)
- ✓ J-FLEC作成教材の無償提供
- ✓ 講師派遣
- ✓ 研究・実践計画立案に関する支援

○研究校として行っていただくこと

- ✓ 金融経済教育の研究・実践
- ✓ 研究・実践の報告(金融経済教育協議会や公開授業での実践報告、報告書の作成)
- ✓ 助成費の支出報告

□ 研究校の実践例(高校のケース)

○指導方法・指導内容

「家庭基礎」(導入編)と「公共」(発展編)によるクロスカリキュラムとし、全 15 時間の構成とした。

1 学期の「家庭基礎」では、ペア学習で進学費用や生活費を調べたうえで、グループ学習による意見交換で資金管理や生活設計の考えを深めさせた。2 学期の「公共」で、地元の小売業の代金決済方法やポイントサービス等をグループ毎に分析。金融が身近な存在であることを理解させた。

○生徒や保護者の反応

生徒は「家庭基礎」で学んだ資金管理や生活設計の意味を、「公共」で分析した視点も踏まえながら、自らの問題として捉えるようになった。

当初、生徒の多くが、「お金の管理や生活設計を意識したことがない」等と発言していたが、最終的には「お金の流れや資金管理の重要性を理解できた」、「スマホ決済等、自分の生活を金融機関が支えていることが分かった」等と発言しており、暮らしを支える金融の重要性を理解できたように思われる。

□ 研究校の実践例(小学校のケース)

○指導方法・指導内容

児童が金銭管理の面で自らの考えを持ち、主体的に行動できるようにすることを目標に、「家庭科」及び「総合的な学習の時間」で多面的に学習する計画とした。

「家庭科」では5種類の文具から欲しいものを選択させ、選んだ理由と必要性についてグループ討議を行った。「総合的な学習の時間」では、特産の果実栽培と収穫後の販売実習により、勤労の尊さとお金の大切さを学習させた。

○児童や保護者の反応

児童は、栽培の大変さや販売する際の値付け等を経験することで、勤労やお金の尊さを実感できるようになった。

児童は、「欲しいものと必要なものを考えながら買物する」、「お金を得る苦勞が分かったので大切につかいたい」と語る等、ニーズとウォンツを理解・把握し自らの考えを持ち主体的に行動できるとした目標が達成できたように思われる。保護者からは、「買物の際慎重に商品を選ぶなど、お金の大切さを理解したようだ」との声が聞かれている。

6. (ご参考)J-FLEC提供教材

- 子どもたちがお金について楽しく学べる、小学生向けコンテンツ「うんこお金ドリル」を提供
- 日々のお金の使い方などをテーマにした「生活編」と、お金が社会の中でどう回っているのかをテーマにした「経済編」があります。

- 対象:小学生
- 学習に必要な時間(目安):1～2時間
- 教材:全20ページで、冊子(紙)またはPDFで提供可能です。

【生活編の内容】

- 1 買い物をするには、
お金がいるのじゃ!
- 2 人が喜ぶことをするのじゃ!
- 3 お金は計画的に使うのじゃ!
- 4 お金の貸し借りはいかんぞい!
- 5 困ったときは相談じゃ!
- 6 お金を増やす方法があるぞい!
- 7 がんばる人はカッコいいのじゃ!



【経済編の内容】

- 1 商売をするには
いろんな準備が必要じゃ!
- 2 お金にはいろんな種類が
あるのじゃ!
- 3 お金はいろんなところを
めぐるのじゃ!
- 4 お客さんがほしくなる方法を
考えるのじゃ!
- 5 お金を手に入れる方法は
いろいろあるぞい!
- 6 「絶対にもうかる!」という話には
気をつけるのじゃ!
- 7 人の気持ちを考えて行動すれば、
自然と人は喜んでくれるのじゃ!



○ おかしの株式会社経営の体験を通して、株式会社の仕組みやお金の流れ(資金調達)について楽しみながら学べる教材です。

- 対象:小学校高学年～中学校
- 学習に必要な時間(目安):90～100分
- 使用する教材:児童用ワークブック、パッケージ、パッケージ用シール、株券シート、お金券、DVD教材(複数回申込の場合は初回時に発送したDVDをご使用ください)
- その他ご準備いただくもの:カラーペン、DVDが再生可能な機器、プロジェクター等



●学習の基本的な流れ

学習の流れ /

1 会社のしくみ を知ろう (18分)

- 01 私たちの身近にある会社
- 02 会社はどんなことをしているのかな
- 03 会社はどんなことにお金を使っているのかな
- 04 会社はどうやってお金を集めるのかな
- 05 株式会社のしくみを知ろう



ワークブックと
楽しいアニメー
ションで会社の
しくみについて
学びます。

2 新商品を売り出そう [ワーク01] (39分)

新商品のおかしを開発しよう

班に分かれておかしの会社を運営します。
話し合って会社の新商品のおかしを考え、
パッケージをデザインします。



班で協力して、
魅力的な新商品
のおかしを考え
ます。



3 新商品を売り出そう [ワーク02] (30分)

株式を出して、 新商品を作るお金を集めよう

新商品のおかしをつくるための機械や材
料を買うお金を株式で集めるため、新商
品の魅力を伝えるプレゼンテーションをし
て、クラスメイトから投資を募ります。



今日学んだことをまとめてみよう

今日の授業で学んだことをアニメーション
を見ながら振り返ります。



●利用者の声

- 自分たちで実際に株式会
社での商品開発を体験す
ることができたので、金
融や株式会社のことをよ
り身近に感じることがで
きた。
- 株式とは、世の中を支え
ていくために大切なもの
だと思った。
- 自分の企画をプレゼンす
るという経験は今後も役
立つものだった。



応援したい会社
に「お金券」を渡し、「株
券」をもらいます。
投資が終わったら各
班で集まった金額を
計算します。

【ワークブック(抜粋)】

02 会社はどんなことをしているのかな

会社は、世の中の人々が喜んで買ってくれる商品やサービスをつくり、サービスとして提供したりしています。自動車の会社は運転しやすい自動車を、お菓子の会社はおいしいお菓子を、服の会社は美しい服を、それぞれ一生懸命に工夫してつくことで、私たちの暮らしや社会を豊かにしています。また、会社は商品・サービスを提供することで利益を生み出しています。

さまざまな会社の商品やサービスによって、世の中が豊かになっています。

会社の活動に必要なもの

人

会社が活動をするためには、働く人が必要です。

モノ

商品をつくるための工場や機械、商品の材料などが必要です。

お金

会社の活動を続けていくためには、たくさんのお金が必要になります。

03 会社はどんなことにお金を使っているの

工場を建てたり、新しい機械を買ったりします。

働いている社員のお給料を払います。

かんぽを払うなど、社会の役に立つ活動を行います。

会社で商品をつくるためには、たくさんのお金が必要です。

商品の原料などを買い取ります。

テレビ、インターネット、ポスターなどで商品を宣伝します。

たくさんのお金が必要になります。

社会 こうけん

たくさんのお金が必要になります。

SDGs について知っているかな

SDGsは、世界のみんなが力を合わせて、世の中で起こっているさまざまな問題を2030年までに解決しようという取り組みです。地球のかんたんを減らしたり、貧しい人々を助けたり、みんなが平等に暮らせるようになくをを作ったりします。会社も社会の一員としてSDGsの達成に協力しています。

✓ ワークブックとDVD教材で、株式会社の基本について学びます。

✓ 資金調達のために、商品の企画やパッケージ製作・発表を行います。

新商品を売り出そう

みなさんの会社は、新しいおかしを開発し、売り出そうと考えています。新しいおかしを作るためには、新しい機械と材料が必要です。そのためのお金を、様式を出して集めます。

みなさんは「これなら買いたい！」と思われるような新商品を考え、自分たちの会社にお金を出してくれる（＝投資）人をたくさん集めてください。

これからやること

01 新商品のおかしを考えよう

① 会社名と社長を決め、新商品のおかしを考えよう

② おかしのパッケージを作ろう

02 様式を出して、新商品を作るお金を集めよう

③ 新商品をアピールして、お金を集めてくれる人を集めよう

④ 投資家を集めて、応援したい会社を決めよう

⑤ 応援したい会社に投資しよう

⑥ 自分たちの会社で集めたお金を発表しよう

01 新商品のおかしを開発しよう

① 会社名と社長を決め、新商品のおかしを考えよう

会社名と社長を決めて9ページの発表シートの1と2の6人に書きましょう。5ページのヒントを見ながら新商品のアイデアを話し合い、どんなおかしにするか決めましょう。

② おかしのパッケージを作ろう

おかしの特長が伝わるように工夫して、パッケージを作りましょう。発表シートを完成させ、発表の準備をします。

③ おかしのパッケージを作ろう

④ おかしのパッケージを作ろう

⑤ おかしのパッケージを作ろう

⑥ おかしのパッケージを作ろう

- 「人生には様々な選択がある」ことに気付き、「計画性を持って生活をしていく必要性がある」ことを体感してもらう、アクティブラーニング型の教材です。
- 4～5人の班を作って、カードを引いたり、カードを選んだりしながら、将来の生活をシミュレートすることができます。

- 対象:中学生～高校生
- 学習に必要な時間(目安):20～60歳まで体験するフルバージョンで100分程度
20～30歳代のみ体験する短縮版で50分程度
- 教材:資料集、カード、ワークシート、指導者用資料
J-FLECホームページから申込が可能(サンプルデータはWEBでご覧いただけます)



●活動評価のポイント

- 本教材の体験を通じて、お金の知識を身につけることができたか。
 - ー収入(額面と手取り収入)、
 - 支出(消費支出と非消費支出)、
 - 大きな資金が必要なライフイベント
 - 借入(特長と注意点)、働き方 など

- 本教材の体験を通じて、どのようなことに気づくことができ、今後役立てられるか。
 - ー家計管理、生活設計の大切さ
 - ーライフイベントとそれに向けた準備
 - ー個人の消費生活と経済のかかわり など



- 仮想所持金(1,000万円)をもとに、東京証券取引所に上場している銘柄について、どの銘柄を売買するのか議論しながら、実際の株価(終値)に基づいて株式の模擬売買を行うシミュレーション教材です。
- 株式の模擬売買を通じて、株価変動の背景となっている現実の経済・社会の動きに生徒たちの目を向けさせることを目的としています。

- 対象: 中学生～大学生
- 学習に必要な時間(目安): 1か月以上が望ましい
(参加時間が短いと株価の動きと社会の動きの関わりが分かりにくくなります)
- 教材: ガイドブック
教材データ(PDF)はWEBで取得可能ですが、ご利用にあたっては申込が必要です。

【ガイドブック(中学生・高校生向け)】



【シミュレーション(株式学習ゲームホームページ)】



- 自立して暮らしていくために必要な、経済生活上の実践的な基礎知識が身に付くよう作成されたワークブック形式の教材です。
- 収支管理、住居選び、クレジットカードやネット取引の利用、悪質商法対策、資産形成、健康と経済的な側面に配慮した食生活管理など、16テーマのワークがあります。

- 対象: 高校生
- 学習に必要な時間(目安): 1ワークあたり1~2時間 (要点を中心に扱えば、1コマでカバー可能)
- 教材: ワークブック、指導書、電子教材
教材データ(PDFなど)はWEBで取得可能です。



- 生徒が将来のライフプランを描き、ローンやクレジットなどの金融商品を正しく適切に利用できるようにわかりやすく解説した教材です。
- 授業計画や授業方法に合わせて使える「講義型教材」と、ドラマ仕立てで多重債務について学べる「動画型教材」があります。

- 対象: 高校生
- 学習に必要な時間(目安): テーマ・教材による
- 教材: 各教材データ(PDFなど)はWEBで取得可能です。

<講義型教材>

生徒用テキストブック、資料集、授業用スライド、ワーク集

<動画型教材>

多重債務に陥る怖さと対策、クレジットとローンの仕組みをドラマ仕立て(シナリオ展開は4パターン)で解説した映像



1 生活設計と家計管理	p03~p18
03 ライフプランはあなたの人生の設計図	11 貯蓄の役割
05 資金計画を立てる	13 運用の役割
07 家計管理の必要性とは?	15 金融商品の選び方
09 税金と社会保険料	17 ライフプランの中での借入れ
2 買い物と支払い	p19~p28
19 キャッシュレスでの買い物と支払い	25 ポイントサービスの仕組み
20 買い物の画面を見てみよう	27 キャッシュレスでの買い物の注意点
21 いろいろな決済方法	
3 お金を借りる	p29~p42
29 ローンとクレジット	36 金利とは?
31 クレジットカードの仕組み	37 ローンの種類と金利
32 クレジットカードの支払い方法	38 利息の計算方法
33 リボ払いと分割払い	39 返済方法の選択
34 クレジットの利用限度額	41 自動車の購入方法
35 ローンの種類	42 ローンの手続きはどんな会社?
4 自立した消費者になるために	p43~p48
43 消費者の保護と責任	47 自立した消費者になるために
45 契約の意味	
5 多重債務と消費者被害	p49~p54
49 多重債務とは	53 もしものときの対応策
51 消費者被害に巻き込まれないために	
特別編 金融の役割	p55~p56

- 過去にタイムトラベルして、「あの時投資をしていたらどうなっていたか」を体験する資産形成体験シミュレーション教材です。
- ポートフォリオ(金融商品の組合せ)を考え、最大20年間の積立運用を行います。
- 資産形成を疑似体験することで、社会や経済の動きと金融商品の価格変動の関係を体感するとともに、金融商品のリスクとリターンの関係や資産形成における長期・積立・分散投資の効果について理解を深めることができます。

- 対象:中学生～大学生
- 学習に必要な時間(目安):50～60分程度
- 教材:資産運用記録表・ワークシート、使い方マニュアル(PDF)はWEBで取得可能です。また、振り返り動画もWEBで視聴可能です。



【金融商品の説明】

金融商品は5つから選択します！

このシミュレーターでは、5つの金融商品を用意しました。預金、国内と外国の債券、国内と外国の株式です。それらの特徴を確認して、どの金融商品にどれだけ投資するか考えましょう。

今回、国内債券は国債の国内の債券を、外国債券は国債の外国の債券を、国内株式は国債の国内の株式を、外国株式は国債の外国の株式を、それぞれ組み合わせて、投資することになります。

預金	国内債券	外国債券	国内株式	外国株式
日本国内の銀行などの金融機関に預け入れ、いつでも引き出しができる。金利は低いが、元本が保証される。	日本国債（国債）や地方債（地方債）などがあり、国債は中央政府が発行し、地方債は地方政府が発行する。金利は低いが、元本が保証される。	日本国債（国債）や地方債（地方債）などがあり、国債は中央政府が発行し、地方債は地方政府が発行する。金利は低いが、元本が保証される。	日本国内の株式市場に投資する。金利は低いが、元本が保証される。	日本国外の株式市場に投資する。金利は低いが、元本が保証される。

詳しく知る >

【リスクとリターンの関係について説明】



【シミュレーション(運用成績の推移例)】



- 社会人や経営者、教員の方等を対象としたイベント・セミナーを無料で開催。
- 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能。

【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	「社会人として身に付けておきたいお金の話」 ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社 (経営者)	「職域における金融経済教育のメリット」 ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取り組み事例の紹介など
教員向け	「基礎から知りたいお金の話」 ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント 「生徒に伝えたいお金の話」 ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	「お金の使い方・貯め方体験プログラム」 「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」





開催
予告

～ご好評につき今年度も開催します！～

教職員ご自身のための 家計管理と資産形成セミナー(仮)

2025年8月23日(土) 10時～12時

参加無料・オンライン

お申込み方法等については、詳細が確定し次第、
J-FLECホームページにてお知らせします(7月中旬頃予定)。

主催:金融経済教育推進機構(J-FLEC)

- 本資料における記載事項は、本資料の日付時点のものであり、今後変更となる可能性があります。
- 本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。